



## マイクロリットルシステム 60周年

エッペンドルフには初めてのものがたくさんあります。1961年に最初のマイクロピペットの販売を開始し、1963年に最初のエッペンドルフ チューブを開発しました。そして1964年、最初の微量遠心分離機を上市したことで、生物系ウェットラボでのマイクロリットルシステムが確立されました。



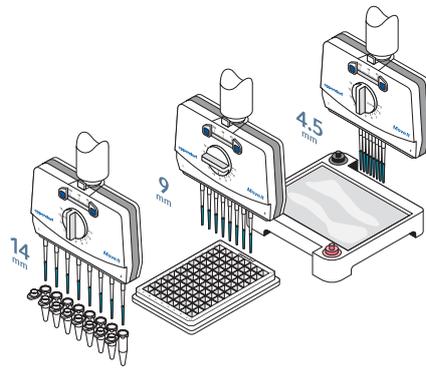
### マイクロピペット

## こんな欲しかった! 作業効率の大幅 UP に

チューブからプレートへの分注など、さまざまな種類の消耗品フォーマットをお使いですか? 新しい **Move It** ピペットを使用すると、さまざまな容器への移送が容易になり、再現性の向上とともに作業時間を 50% 削減できます。

チューブ立てに並んだマイクロチューブ・PCR チューブ・384 プレート・プロットングウェルなど、等間隔で並んだものへの分注を素早く処理できます。

分注作業をより効率的に行いましょう!



### マイクロチューブ

## こんなチューブを使ってみませんか?

1.5・2.0・15・50 mL 以外のチューブを試されたことはありますか?

これらの間を埋める **5.0 mL、25 mL チューブ**、さらに **片手で開閉できる 50 mL サイズのチューブ** もご提供しています。

チューブの内壁にピペットが接触しにくいのでコンタミネーションが起りにくく、試薬や培養液の調製に役立ちます。クリーンベンチ内での作業もより快適に行っていただけます。



### 遠心分離機

## 環境に良いだけじゃない ノンフロン冷却遠心機

シンプル&スタイリッシュデザインでご好評の **微量高速遠心機 CF18R/CF18RS** がリニューアル、フロン排出抑制法対象外の冷媒を採用しました。この機会に旧モデルの更新をご検討ください!

#### ノンフロンモデルへの買い替えをお勧めします

- 従来の冷凍機付遠心機は 3 カ月に 1 回の点検を義務付けられています
- 従来機の廃棄時に義務づけられている、フロン回収に関する書類作成の必要がありません
- ノンフロンモデルに搭載の新冷媒は GWP (地球温暖化係数) の値が 1 以下





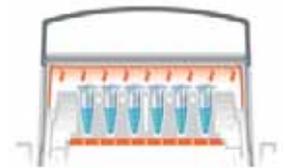
## マイクロリットルシステムを支える製品とサービス



### ドライバスシェーカー

### コンタミを気にしないミキシング、反応系に

**サーモミキサー C** はウォーターバスシェーカーと異なり、水を介さないタイプのドライバスシェーカーです。アクセサリのサーモトップ（別売）を用いることで、チューブ上面からも温度をかけることができます。チューブ蓋部分の結露を押さえることができるため溶液の濃度変化が生じず、理想的な環境で反応を進めることができます。



### サーマルサイクラー

### 静かで再現性高い PCR を

PCR 装置はうるさいものと思いませんか？ **新製品 マスターサイクラー X40** は図書館にいる程度の動作音で、ラボでの実験環境をより快適にします。

- 動作音：≤ 40.5 dB (A)
- ブロックの温度均一性：± 0.2 °C，設定温度 20-72 °C
- 本体サイズ：24.5 x 38.5 x 23 (W x D x H, cm)
- 消費電力量：0.134kWh



### CO<sub>2</sub> インキュベーター

### 洗浄にかける手間と時間を大幅に削減

**CellXpert C170i** はコンタミリスクを最小限に抑えるために設計された装置です。HEPA フィルター・ファン・UV ランプ・表面の凹凸などを庫内から排除し、目視で全てのスペースが確認できます。

全てのシェルフ（棚板）とシェルフラックは 1 分以内に庫内から取り出すことができ、拭き取り洗浄を容易に行えます。庫内アクセサリは全て 180 °C 高温滅菌耐性あり、高温滅菌前後に脱着する必要はありません。



**epServices**  
for premium performance

### 修理より予防



#### ピペットバリデーションサービス

ピペットは液体を正確に計り取るための、実験や検査に無くてはならない大切なアイテムです。常に正確なデータを得るには適切なメンテナンスが必要です。エッペンドルフの検定・校正サービスは全メニュー ISO 8655 準拠です。GLP/GMP 等の品質管理、臨床検査 (ISO 15189) 等の各種 ISO の運用時にご利用いただけます。

#### 機器アフターセールサポートプラン

また機器についても長年にわたる生産的で信頼性の高い運用のために、実験機器を定期的に保守および認定することで継続的に信頼性を保つことをお勧めします。実験機器やソフトウェアのインストールとメンテナンスから、品質と規制条件のサポートまで、あらゆる段階で対応します。

